

文化財ニュース No.52

編集・発行 加古川市教育委員会 文化財調査研究センター

文化財調査研究センター ■住所 加古川市平岡町新在家1224-7 〒675-0101 (中央図書館2階、JR東加古川駅から北へ徒歩約10分) ■電話 (079) 423-4088 ■FAX (079) 423-8975 ■事務取扱時間 平日・土曜9:15~18:15(日曜、祝休日、12月29日から翌年1月3日まで、毎月第2月曜は休所) ■加古川市ホームページ <http://www.city.kakogawa.hyogo.jp/>

新しい指定文化財と国登録文化財

～新指定1件、国登録1件～

3月6日の定例教育委員会で、文化財審議委員会の答申を受け、平荘町小畑の八尊石仏(ハツ仏)1基が、新しく市指定文化財となりました。

また、平成20年度は、泊神社(加古川町)の本殿など8件が5月7日に新たに国登録文化財の建造物に登録されました。

これにより、市内の指定・登録文化財は、国指定23件(うち国宝2件)39点、県指定32件54点、市指定54件1,371点と、国登録8箇所34件となりました。

これらの指定文化財をはじめ、市内にはたくさんの文化財があります。地域の文化財は、心豊かな生活のために活用していくとともに、未来の人々のためにたいせつに保存していかなければなりません。

はちそんせきぶつ やつぼとけ
八尊石仏(ハツ仏) 1基 市指定 彫刻

石造 現高153センチ 南北朝時代/14世紀

小畑東町内会(平荘町)管理

この石仏は、平荘町小畑の小塩池の西側の山すそに立つもので、古墳時代の凝灰岩製の石棺材に8軀の仏像を薄肉彫りした石棺石仏です。

石棺材は家形石棺の蓋石で、その内側に、上下2段左右2列で4軀、また、蓋石の内側の左右の各縁部分に上下2段で4軀、合わせて8軀の尊像が、いずれも舟形の輪郭とともに彫り出されています。

内側上段の2軀と縁部の4軀は阿弥陀如来坐像、内側下段の向かって右の像は地藏菩薩坐像と考えられ、向かって左の像の尊名は不詳です。

鎌倉時代の石仏と比べると、表現に形式化が進みかけているものの、近接する長楽寺墓地に立つ「六尊石仏」とともに、南北朝時代の大型で迫力のある石棺石仏として、注目されてきたものです。

石棺材に複数の仏像を彫り出したこのような形式の石仏は、加古川地域の特色を示すものでもあり、8軀の仏像が刻まれているこの石仏は、加古川市を代表する石仏として貴重なものです。



八尊石仏

とまり
泊神社 8件 国登録 建造物 加古川町木村
本殿(承応2年(1653))、神楽殿(承応2年(1653))、能舞台(江戸時代後期)、幣殿(江戸時代末期)、末社熊野神社本殿(江戸時代末期)、末社住吉神社本殿(明治時代)、末社種子神社本殿(明治時代)、太鼓倉(昭和11年(1936))

泊神社は、中世の播磨国印南郡雁南庄を中心とした地域の鎮守社と考えられている神社で、現在の祭神は、天照大神、国懸大神、少彦名大神です。

承応2年(1653)に、豊前国小倉藩筆頭家老の宮本伊織によって本殿などが再建されています。伊織は、米墮(米田村)出身で、剣豪宮本武蔵の養子となった人物です。

本殿は、江戸時代はじめの良質な意匠^{いしやう}を持つ建物として注目されています。豪快な梁組^{はりぐみ}を見せる能舞台をはじめとする建造物は、境内の歴史的景観を構成しています。



泊神社

ぼくらは加古川探検隊

子供たちに地域の自然や文化を再発見してもらうことを目的に、「ぼくらは加古川探検隊」事業を実施しました。

昨年引き続き、夏休み期間に家族と探検してもらうため、市内の小学3年生～6年生に市内の自然や文化財を紹介したパスポートを配りました。

加古川市史を好評発売中

考古、古代の時代から現代まで加古川地方の歴史をまとめた加古川市史を発売しています。本編3巻、史料編4巻、別編2巻で、文化財などの貴重な資料を掲載しています。

市役所行政資料室で1冊から購入できます。詳しくは、市役所総務課(☎079-427-9133)へ。

文化財関係出版物

文化財調査研究センターでは、文化財関係出版物を取り扱っています。購入をご希望の場合は、直接、来館ください。郵送の場合は、送料などが必要ですので、電話で詳細をご確認ください。

【普及図書】

『加古川市の文化財』 (1988年改訂、A5判 123頁)	1,000円
『加古川市文化財図録』 (1995年、A4判 107頁)	3,800円
『加古川市遺跡分布地図』 (1994年改訂、A4判 291頁)	1,800円
『加古川市誌第二巻(別府町)』 (1971年、A5判 1,085頁)	5,000円

【文化財調査報告書】

『奥新田西古墳』 (2000年、A4判 41頁)	500円
『行者塚古墳シンポジウム記録集』 (1998年、A4判 98頁)	1,000円
『溝之口遺跡Ⅰ』 (1992年、A4判 112頁)	8,000円
『加古川市の民俗』 (1985年、B5判 291頁)	1,200円
『カンス塚古墳』 (1985年、B5判 16頁)	200円
『加古川市埋蔵文化財集報Ⅰ』 (1983年、B5判 28頁)	500円
『東中遺跡』 (1981年、B5判 106頁)	1,200円
『広尾東遺跡』 (1980年、B5判 14頁)	500円
『山之上遺跡Ⅰ』 (1977年、B5判 8頁)	200円
『岸遺跡』 (1972年、B5判 23頁)	200円

調査と報告

加古川市教育委員会では文化財保護のために、埋蔵文化財の発掘調査を行っています。

平成20年度の発掘調査成果について

加古川市教育委員会では、平成20年度に開発事業にともなう各種の発掘調査を実施しました。

砂部遺跡・神吉南遺跡の発掘調査は市道建設事業にともなうもので、東神吉町神吉の水田やスポーツ広場において、実施しました。6箇所の調査区を設定して調査を行った結果、弥生時代～奈良・平安時代の溝や穴等が発見されました。



神吉南遺跡

また、個人住宅建設等にともなう確認調査を平成20年4月から平成21年2月現在までで33件ほど実施しました。

八幡町の野新村1号窯跡は、奈良時代の窯跡が発見されました。また、坂元遺跡の調査では古代の溝等が発見されました。溝之口遺跡の調査でも、平安時代の溝等が発見されました。

このほかには、西条古墳群史跡整備事業にともなう、人塚古墳の範囲確認調査を実施しました。



野新村1号窯跡（部分的に残存）

保護と活用

文化財の公開

少年自然の家（東神吉町）の敷地内にある県指定文化財本岡家住宅を公開しています。この建物は元禄7年に建築された大型民家で、昭和44年に県指定となり、平成10年に今の場所に移築復元されました。

建物内部には農耕具を中心に民具など、建物前には明治時代の救助船を展示しています。

毎年、子供の日（5月5日）、文化財保護強調月間（11月下旬）、少年自然の家無料公開日に建物内部を特別公開しています。

お問い合わせは文化財調査研究センター（☎079-423-4088）まで。また、少年自然の家の無料公開日は少年自然の家（☎079-432-5177）まで。



本岡家住宅

文化財講座・市内見学会

地域の歴史や文化財についての理解を深め、文化財保護意識を高めるため、文化財講座を開催しています。

平成20年度は青少年女性センターを会場に、9月27日に「加古川の伝説めぐり」（埴岡真弓先生）、10月11日に「雨月物語の世界」（元田與市先生）、11月1日に「播磨の妖怪と幽霊伝説」（大森亮尚先生）を開催し、延べ285名の皆さんにご参加いただきました。

また、5月17日には文化財保護協会と共催して市内文化財見学会「日岡から神野の文化財を訪ねて」を開催し、39名の皆さんにご参加いただきました。



市内文化財見学会（二塚古墳）

加古川市教育委員会では、地域の文化財の保護を行うとともに、説明板の設置や文化財の公開を行うことで、文化財を身近に感じてもらうよう努めています。また、文化財保護協会をはじめ、地域の団体や機関とともに、文化財の保護と活用に取り組んでいます。

加古川市文化財保護協会の会員募集

市内の文化財ならびに自然風土を保護し、これらに関する研究とその知識の普及をはかり、市民文化の向上に資することを目的として、昭和51年から活動しています。お問い合わせは文化財調査研究センター（☎079-423-4088）まで。

主な事業：文化財説明板の設置、文化財見学会
会費：正会員 年間2,000円

伝統文化子ども教室（文化庁主催）

この事業は、我が国の伝統文化を各地域において、小・中学校生に体験・修得させ、次世代への継承を確かなものとし発展させることを目的として、財団法人伝統文化活性化国民協会が実施している事業です。平成20年度は全国で約4700教室、加古川市内では次の10教室が開催されました。

ホームページアドレス <http://www.kokuminkyokai.or.jp/>

- 播磨王将会子ども将棋教室「加古川の将棋びと養成講座」（加古川市将棋協会）
- こどもいけばな教室（未生会加古川支部）
- 子ども琴教室（加古川市立加古川公民館）
- 百人一首加古川教室（加古川百人一首協会）
- 伝統文化いけばな子ども教室（いけばな小原流加古川地区伝統文化子ども教室実行委員会）
- 伝統文化箏子ども教室（NPO法人邦楽指導者ネットワーク21加古川支部箏曲椰の会）
- こども生花教室（財団法人加古川市文化振興公社）
- 獅子舞・舞芸教室（福留日岡神社神事保存会）
- 播磨かるた教室（播磨かるたの会）
- 加古川流鎗馬子ども教室（加古川市流鎗馬保存会）

（ ）内は実施団体名



獅子舞・舞芸教室